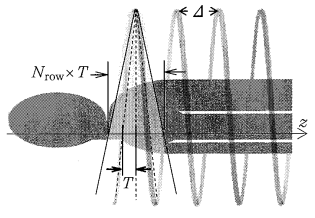
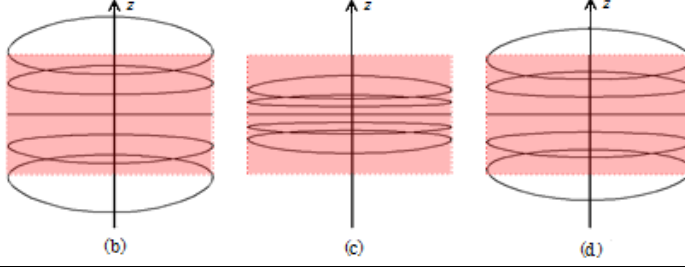
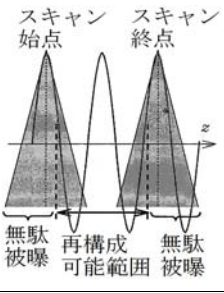
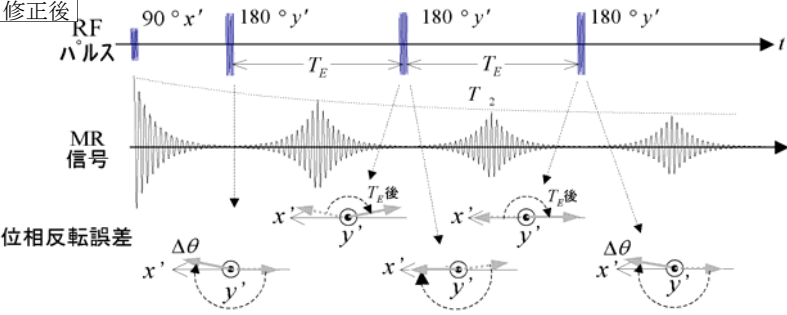
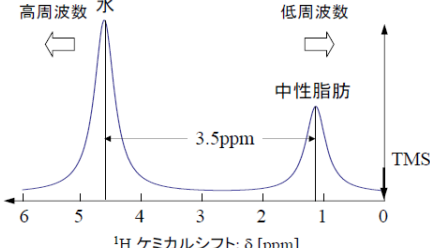
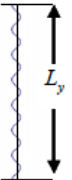
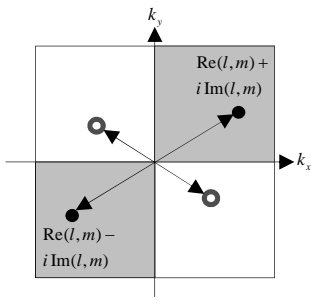
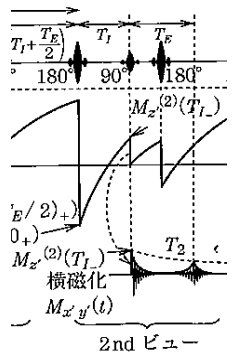
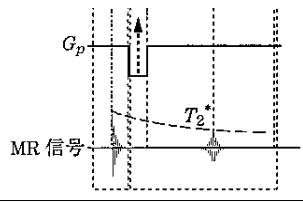
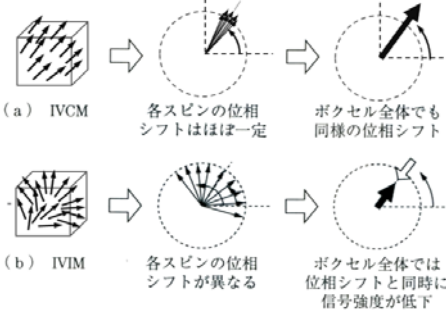


ページ	箇所	修正内容
6	図2.3	左から五つめの棒グラフで組織名が抜けているのは「甲状腺」。キャプション中の「AI」は「Ai」。
38	図4.16	<p>修正後</p>  <p>図下方の幅を示している箇所に「T」を挿入する(1か所)。</p>
48	脚注	「…で $i k^2$ を積分して…」→「…で $i x^2$ を積分して…」
53	式(5.3)	<p>修正後</p> $\Delta t = R_F \frac{1}{N_{ch}} 2 \sin^{-1} \left(\frac{FOV_{max}}{2R_F} \right)$
57	式(6.5)	<p>修正後</p> $w'_D = w_D \frac{R_F - r}{R_F + R_D}$ <p>右辺の「w_F」を「w_D」にする。</p>
65	上から2～4行目	<p>「NPSは雑音画像をフーリエ変換し、……すなわち分散に等しい[†]。」</p> <p>↓</p> <p>「雑音画像を離散フーリエ変換して絶対値を2乗すると、その総和は画像雑音の分散に等しい[†]。これをさらに単位空間周波数当りの値に正規化したものがNPS(図6.14)で、$[HU^2 cm^2]$の単位を持つ。」</p>
96	図8.14 (b)～(d)	<p>修正後</p>  <p>修正前は図(b)と図(d)がまったく同じであったが、正しくは両者は異なる(例えば、矩形領域からのみ出し方など)。また図(c)も修正前は不正確な形状であった。</p>
109	図10.5	<p>修正後</p>  <p>「スキヤン始点」「スキヤン終点」「無駄被曝」「再構成可能範囲」の文字を挿入した。</p>
123	式(12.23)	<p>修正後</p> $\frac{1}{T_2^*} \approx \frac{1}{T_2} + \frac{\gamma}{2} \Delta B_0$ <p>右辺第2項の分母の「π」を削除する</p>
127	下から4行目	<p>「…のように180° 再収束パルスを初回は y' 軸回り、つぎは $-y'$ 軸回りと交互に…」</p> <p>↓</p> <p>「…のように x' 軸回りに90° パルスを印加後、180° 再収束パルスは y' 軸回りに…」</p>
128	図12.20 (b)	<p>修正後</p>  <p>・t軸の「$180^\circ -y'$」→「$180^\circ y'$」(1か所)</p> <p>・t軸の下にT_Eの範囲を示す矢印を挿入(2か所)</p> <p>・「位相反転誤差」に「T_E後」のものを二つ追加(計五つになる)</p>
130	図12.23(b)	<p>修正後</p>  <p>グラフを左右反転させる。</p>

ページ	箇所	修正内容	
138	図13.7(a)	<div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-right: 10px;">修正後</div>  </div>	L_y の左の波線は縦向き
138	図13.7(b)	<div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-right: 10px;">修正後</div>  </div>	原点对称の2点がたがいに複素共役
138	17行目	<p>「したがって、k 空間では図2. 31(b)に示すように実数部、虚数部はk_x, k_y軸に対してそれぞれ対称、反対称になる。」</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>「k 空間では図2. 31(b)に示すように、原点に対する対称点で、実数部が等しく虚数部は符号が反転する。」</p>	
147	図14.7	<div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-right: 10px;">修正後</div>  </div>	T_E を示す矢印の右端から破線を下ろす。
148	図14.9	<div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-right: 10px;">修正後</div>  </div>	T_2^* の曲線を破線にする。
157	図15.8	図中の「RF信号」を「MR信号」にする(図(a),図(b)とも)。	
187	式(18.1)	$\text{SNR} \propto \left(\frac{\text{FOV}(\text{RO})}{\text{Matrix}(\text{RO})} \times \frac{\text{FOV}(\text{PE})}{\text{Matrix}(\text{PE})} \times ST \right) \times \sqrt{\frac{N_A \times \text{Matrix}(\text{RO}) \times \text{Matrix}(\text{PE})}{BW}}$ <p>√内に$\text{Matrix}(\text{RO})$の項を挿入。(省略されているテキストも多いが、この項の入っている式が正確である)</p>	
205	2行目	<p>「…本撮影での任意断面の撮影に対応できるように全撮像領域をカバーする。」</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>「…本撮影での任意断面撮影に対応するために、全撮像領域をカバーするように感度分布データを取得する。」</p>	
217	図21.4	<div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-right: 10px;">修正後</div>  </div>	スピンの様子を表した図を差し替える。(a)の各図、(b)左端の図。)